

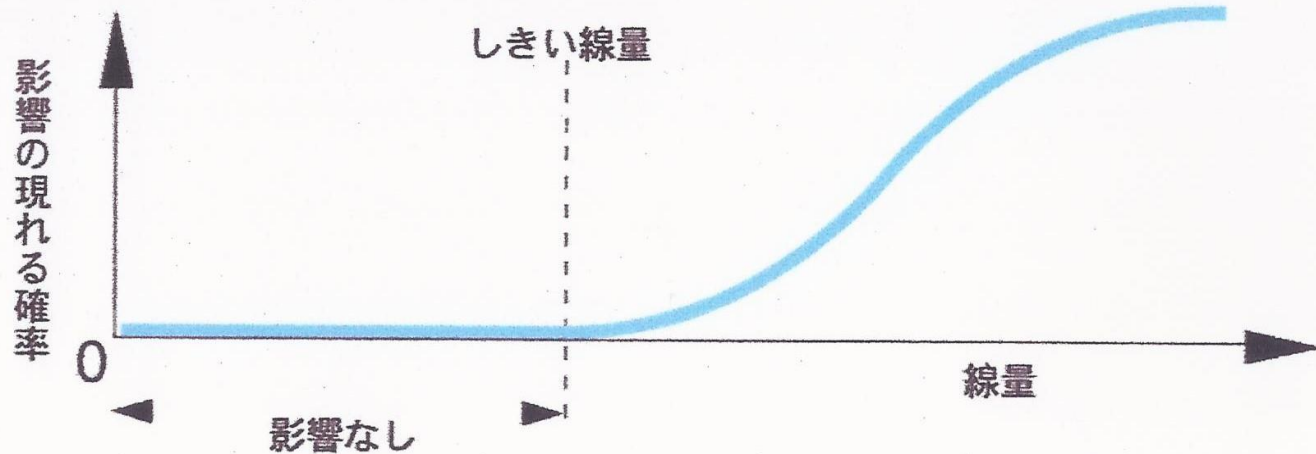
表7. 乳幼児の家族からの相談(1)

Q 福島県葛尾村在住、3歳と7歳の子がいる、事故後1年間の積算線量推定値は10-15mSvという、子どもたちが将来がんになるリスクはどの程度なのか

A 原爆生存者やチェルノブイリ原発後追跡調査で100mSv以下での有意ながんリスク増加の確証はない、しかし発がんは確率的影響でしきい値がないとすれば、理論的には発がんリスクの増加はあり得る、ただ、具体的にどれぐらいのリスクと予測はできない、人の1/3はがんで死ぬのでこの程度の線量でのリスク増は問題にならない、喫煙、食物の発がん物質等の影響が遥かに大

確定的影響と確率的影響 (図1)

確定的影響 (脱毛・白内障など)



確率的影響 (がん・白血病など)

